

令和4年度 企画展

奥秩父の自然

Nature of OKUCHICHIBU

雄大な山々や険しい峡谷
奥秩父に息づく多様な生きものを知る

2022 7/2^土~10/16^日

埼玉県西部に位置する奥秩父山塊は、荒川や千曲川など関東・中部地方の主要河川の源流と分水嶺にあたります。

手つかずの自然が数多く残る場所として、秩父多摩甲斐国立公園やジオパーク秩父、甲武信ユネスコエコパークに認定されています。本企画展では、奥秩父を地形・地質、植物、動物の3つの視点からとらえ、その魅力をご紹介します。

奥秩父の地形・地質

奥秩父一帯は、約1億年以上前にプレート運動によって大陸の縁辺に付加した地層や岩石からできています。これらの岩石が侵食され、険しい峡谷がつけられました。約600万年前には、地下深くで貫入したマグマが石灰岩と反応し、鉱床がつけられました。



豆焼沢



秩父鉱山

奥秩父の植物

中間温帯から亜寒帯まで、多様な植物が生育する奥秩父。標高1600m以上の亜高山には、コメツガやシラビソ、オオシラビソなどの針葉樹の原生林が広がっています。甲武信ヶ岳の周辺では、コケの絨毯が一面に広がる美しい風景が見られます。



亜高山の林床



コメツガ



アズマ
シャクナゲ



ホテイラン

奥秩父の動物

奥秩父の原生林には、国指定特別天然記念物のニホンカモシカをはじめ、大小様々な動物が生息しています。本コーナーでは、普段はなかなか見ることができない、奥秩父の哺乳類や鳥類の剥製を展示します。



ヤマネ



ニホンカモシカ



ホシガラス

埼玉県立 自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

TEL 0494-66-0404

埼玉県立自然の博物館

検索

開館時間 9:00~16:30(7・8月は17:00まで)
※入館は閉館30分前まで

休館日 月曜日(祝日、7・8月は開館)
9/6(火)~9/11(日)

観覧料 一般 200円、高校・大学生 100円
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(及び介助者1名)は無料

*ご来館の際は、マスクの着用にご協力ください。
*混雑時に入館制限を行う場合があります。
*新型コロナウイルスの状況により、会期の変更等がある場合があります。最新情報を博物館のホームページ(<https://shizen.spec.ed.jp/>)でご確認ください。



自然の博物館



「コバトン」さいたまっちゃん